

ラバポート バシリアディス ソイ ブイオン (RVS-T)

For microbiological control only

Rappaport Vassiliadis Soy Broth (RVS-T)
Salmonella 検出用選択増菌培地

用途

ラバポートバシリアディスソイブイオン(マラカイトグリーン、塩化マグネシウム及びソイペプトンを含む)は食品検体からの *Salmonella* 検出に使用する選択増菌培地です。本培地は標準法 NF EN ISO6579 に準拠しています(1)。NF EN ISO6579 に従い、ミューラーコフマンテトラチオネートブイオン(ノボピオシン含有; MKTTn)と併用して下さい。本培地は、製薬分野において、非無菌医薬品における *Salmonella* の検出に使用します。本培地はヨーロッパ薬局方、アメリカ薬局方および日本薬局方の国際調和事項に準拠しています(2,3,4)。

原理

本培地はラバポートバシリアディスブイオンを基礎に改良を加えたもので、ソイペプトン、pHを維持するためのリン酸二水素カリウム、マラカイトグリーンの毒性を減少させるための塩化マグネシウムを含みます。 *Salmonella* の生育により適した培地です。

キット構成

調製済み培地	
REF42110	試験管培地(10ml) × 20 本

組成

理論値

性能を確保するため、若干変更される場合があります：	
ソイペプトン	4.5g
塩化ナトリウム	7.2g
リン酸緩衝液	1.44g
(リン酸二水素カリウム+リン酸水素二カリウム)	
塩化マグネシウム 6 水和物	28.6g
シュウ酸マラカイトグリーン	0.036g
精製水	1l
pH5.2	

必要な器材

試薬：

- ペプトン緩衝溶液 (Ref. 42042、42043)
- ミューラーコフマンテトラチオネートブイオン (Ref. 42114)
- XLD 寒天培地 (Ref. 43563)
- SMID2 寒天培地 (Ref. 43621)、ヘクトエン エンテリック寒天培地 (Ref. 43111)、BGM 寒天培地 (Ref. 43588) 等

機器：

- ふ卵器

使用上の注意

- 微生物試験にのみご使用下さい。
- 熟練者をご使用下さい。
- 本製品は動物由来の原料を含みます。由来に関する知識、由来動物の衛生状態は感染性のある病原体がないことを保証するものではありません。したがって、これらは潜在的に感染の可能性があるものとして、充分注意の上お取り扱い下さい(摂取または吸入しないで下さい)。

- 全ての検体、培養物および検体を接種した製品は感染性があるものとして適切にお取り扱い下さい。被検菌の無菌操作および通常操作の留意事項は以下のガイドラインをご参照下さい。安全ガイドライン: CLSI/NCCLS M-29A, «Protection of Laboratory Workers from occupationally Acquired infections, Approved Guideline – Current Revision» 操作留意事項: Biosafety in Microbiological and Biomedical Laboratories, CDC/NIH – Latest Edition、または各国の規制ガイドラインに従って下さい。
- 培地を製造原料として使用しないで下さい。
- 有効期限切れの製品は使用しないで下さい。
- コンタミネーションの起きている培地は使用しないで下さい。
- ご使用前に、ボトルキャップに破損がないことをご確認下さい。
- 本培地は取扱い説明書に記載されている操作方法に従って使用して下さい。操作方法を変更すると結果に影響を及ぼすことがあります。

貯蔵条件

- 箱に入れた状態で、2-8 °C 下で有効期限まで保管可能です。

検体

検体の収集・調製には、最新の標準法をご参照下さい。薬局方の国際調和事項に従って検体を調製して下さい。

使用法

食品分野での使用：

ISO6579 に記載されている方法をご参照下さい。

- 培地を室温に戻して下さい。
 - ペプトン緩衝液を用い 37 ± 1 °C で 18 ± 2 時間前増菌培養を行った後、その 0.1ml を RVS10ml へ接種します。
 - 41.5 ± 1 °C で 24 ± 3 時間培養します。
- 注意: MKTTn ブイオンと併用して下さい。

製薬分野での使用：

薬局方の国際調和事項をご参照下さい。培養至適温度は 41.5 °C です。

判定

食品分野での使用：

- 菌の分離は XLD 寒天培地および他の適切な分離培地 (SMID2、ヘクトエン エンテリック寒天培地など)で行って下さい。
- 標準法、および選択分離培地の添付文書に従って下さい。

品質管理

本培地は厳格な品質への要望を満たすよう開発・製造されています。各ロットの品質管理における菌株試験結果は試験成績書に記載されています(ご要望により提供致します)。

食品分野では：

標準法 XP CEN ISO/TS11133-2 に従い品質管理を実施します (5)。

製薬分野では：

薬局方の国際調和事項に従い管理します。

留意事項

- 検体は多岐にわたるため、用途に応じてバリデーションされることをお勧めします。
- ISO6579 :2002 によると、本方法では *Salmonella* Typhi および Paratyphi を回復させることはできません。

廃棄処理

使用の有無にかかわらず、他の汚染廃棄物とともに、感染の危険性のある物質の廃棄方法に従い廃棄して下さい。
廃棄産物や流出産物は使用施設の責任の元、それぞれの性質や危険性の度合いに応じて適切な規制に従い廃棄して下さい。

参考文献

- NF EN ISO 6579 (December 2002) : Microbiology of food and animal feeding stuffs. Horizontal method for the detection of *Salmonella* spp.
- European Pharmacopoeia EP 5.
- United States Pharmacopoeia USP 29.
- Japanese Pharmacopoeia JP 15.
- XP CEN ISO/TS 11133-2 (January 2004) – Microbiology of food and animal feeding stuffs. Guidelines on preparation and production of culture media. Part 2 : Practical guidelines on performance testing of culture media.
- CORRY J.E.L. et al. - Chapter 13 : Media for the isolation of *Salmonella*. p 195-208 - Rappaport-Vassiliadis (RVS) broth p. 574-576 – Handbook of Culture Media for Food Microbiology, Elsevier Science B.V., Vol. 37, 2003.
- MAIJALA R., JOHANSSON T., HIRN J. - Growth of *Salmonella* and competing flora in five commercial Rappaport-Vassiliadis (RV) - media – National Veterinary Institute, Helsinki, Finland, 1992.
- PETERZ M., WIBERG C., NORBERG P. - The effect of incubation temperature and magnesium chloride concentration on growth of *Salmonella* in home-made and in commercially available dehydrated Rappaport-Vassiliadis broths - J. Appl. Bacteriol. 1989, vol 66, p. 523-28.

記号

記号	内容
	品番
	製造元
	保管温度
	有効期限
	ロット番号
	使用手順を参照

(問い合わせ先)

製品関連

シスメックス株式会社 CS センター

臨床(病院、臨床検査センターなど) TEL: 0120-265-034

産業(企業、保健所など) TEL: 0120-022-328

注文・納期・在庫関連

シスメックス・ビオメリュー株式会社

TEL: 03-6834-2666(代表)



シスメックス・ビオメリュー株式会社

東京都品川区大崎一丁目2番2号
大崎セントラルタワー8階



bioMérieux sa

69280 Marcy-l'Etoile/France

Tel.33(0)4 78 87 20 00 /

Fax33(0)4 78 87 20 90

<http://www.biomerieux.com>